

# 畜産経営情報

牛肉に対する一般食品の放射性セシウムの新基準値100ベクレル/kgが平成24年10月1日から適用されます。

## 一般食品(牛肉)の放射性セシウム基準値

(基準値)  
一般食品(牛肉) 100ベクレル/kg  
※経過措置(500ベクレル/kg)は9月30日で廃止となります。

## 基準値を超過した場合の対応

- 牛肉で100ベクレルを超過した場合には、その枝肉等の流通は規制され、廃棄処分となります。(処分に係る経費を求められることもあります)また、原子力災害本部からの通知に基づき、出荷制限が地域を単位として設定されることがあります。
- 原因を究明するため、飼養農家の飼養管理状況、家畜の導入経過、えさの購入状況、各農家の出荷した牛のデータ(家畜毎の出荷先での検査結果等)などを調査した上、放射性物質検査により家畜の安全性を確かめてから出荷再開となります。
- その際は、家畜保健衛生所等が実施する調査に御協力をお願いします。

## 留意事項

農家の皆様は、日頃より家畜の導入や飼料の購入の際には十分に安全性をご確認ください。

○飼料暫定許容値(平成24年4月1日以降)

牛及び馬 100ベクレル/kg、豚 80ベクレル/kg、家きん 160ベクレル/kg

# H24年産長野県産の飼料作物は全て使用可能です

## 1 長野県産の飼料の取扱い

区分	取扱い内容	
23年産	夏作飼料作物、稲わら、飼料用米、稲発酵粗飼料は今までどおり使用が可能。	
24年産	①永年性牧草 ②夏作飼料作物 (稲発酵粗飼料含む)	国の通知により本県は流通・使用の自粛の対象ではありませんが、安全性確認のため、県独自検査をした結果、不検出又は暫定許容値を大きく下回っており流通・使用は可能です。 ＜流通・使用自粛対象県＞ 岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県
	飼料用稲わら	国の通知により本県は調査対象県ですが、23年産の調査結果から流通・利用の自粛を行わないことができるため、自粛を行いませんでしたが、安全性確認のため、県独自検査をした結果、全て不検出であり流通・使用は可能です。 ＜流通・使用自粛対象県＞ 夏作飼料作物の調査対象県及び玄米調査対象都県(青森県、秋田県、山形県、東京都、神奈川県、 <b>長野県</b> 、山梨県、静岡県及び新潟県)
	飼料用米	国の通知により本県は玄米の調査対象県であるため、検査結果が判明するまでは出荷自粛を要請しましたが、検査結果は全ての市町村において不検出であったため、飼料用米も流通・使用は可能です。 ＜流通・使用自粛対象県＞ 玄米検査対象都県(岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、青森県、秋田県、山形県、東京都、神奈川県、 <b>長野県</b> 、山梨県、静岡県及び、新潟県)

＜注意事項＞対象県の飼料作物を使用するにあたっては、対象県の自粛解除の情報が随時、各都県のホームページ等で情報提供がなされていますので、ご確認の上、使用するようにしてください。

## 2 本県の独自検査の状況

【分析機関：(独)農林水産消費安全センター(さいたま市)】

区分	地域	採取地	調査時期	検査結果	備考		
牧草	東信	御代田町	5月14日	不検出	採草地		
	中信	塩尻市					
	南信	伊那市	5月31日		公共牧場		
	北信	長野市	5月24日				
夏作飼料作物	稲発酵粗飼料(WCS)	東信	立科町	8月22日	不検出	田	
		南信	阿智村				
		中信	松川村				8月6日
		北信	信濃町				8月22日
	飼料作物 (青刈トウモロコシ)	南信	伊那市	8月22日	不検出	ほ場	
		中信	安曇野市				
		北信	中野市				8月6日
東信	小海町	不検出					
飼料用稲わら	東信	佐久市	8月30日	不検出	田		
	南信	伊那市	8月30日				
	中信	池田町	9月3日				
	北信	信濃町	9月4日				
飼料用米	全域	市町村	8月23日～ 9月26日	不検出	玄米調査結果		